

事業所自己評価

事業所名：LITALICOジュニア さいたま宮原 教室

サービス：児童発達支援

評価実施日：2024年11月12日（火）

担当者：畠山優作、高橋さと美、村社美紀

事業所内分析

事業所と保護者さまとの共通点

・余裕のある職員数の配置がされていないと感じている点が事業所スタッフと保護者さまとの共通点である。
→昨年度の個別指導の形態から集団指導の形態に変更したため、お子さまの対応に必要な指導員の人数が多くなった。
・父母向けの座談会、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているかという点が事業所スタッフ、保護者さまともに半数近くの方が「どちらでもない」「いいえ」と回答していた。
→今年度座談会やペアトレーニングの実施を計画しておらず、周知等も行っていなかったため。

事業所と保護者さまとの相違点

・事業所スタッフは避難訓練や緊急時の対応についての研修等を通して緊急時の準備等を行うことができていると認識しているが、保護者さまの中には非常時の対応について「分からない」と回答している方が多かった。
→昨年度に比べてお子さまを預けて外出される方が増え、教室内に掲示されていた災害時の対応等についての案内に触れる機会が少なかったため。

分析・検討結果

事業所の強み

・保護者さまとお子さまの状態や様子について都度共有を行いながら支援を進めることができている点。
→指導後、毎回保護者さまとお話する時間を設けることにより日頃の困りや様子をヒアリングすることができたため。

事業所の改善点

・お子様の安全面を担保しつつ、質の高い支援を提供できる人員の確保、支援内容の検討。

改善への取り組み

・安心、安全にお子さまが通っていただくことができるように、活動の見直しや環境を整えるなどの工夫を行っていきたい。また、必要に応じて教室内で研修を実施するなど、支援の質が高まるようにしていきたい。
・今年度の指導の様子を踏まえて、来年度の時間割を調整するなどの対応を行っていく。